

共栄中だより

共栄中学校通信

令和3年

9月29日発行

9月号

共感

共鳴

共育

共栄中祭の成功に向けて

校長 中井 哲

今週の30日(木)に延期されていた体育祭と文化祭を合わせて「共栄中祭」(合唱コンクールは10月22日(金)に実施予定)として『和衷協同～皆で最高の思い出を』のテーマのもと実施いたします。本来であれば人数に制限なく家族や親戚、地域の皆様や来賓の皆様等たくさんの方をお招きして共栄中生の元気な姿、全ての活動を見ていただきたいのですが、コロナ禍によるできる限りの活動を参観者に制限を設け実施いたします。ご理解ください。

現在、10日間の特別時間割の中で、時間を有効に使い、真剣に、和気藹々と準備、練習に励んでいます。ステージパフォーマンスは各学級の題名を見るだけでなく心が躍ります。また、会場と心に響き渡る吹奏楽部演奏や各学級の思いが込められた学級旗、3種目に絞ってグラウンドを躍動する姿等どれも充実した内容となっています。ここまで延期や制限と様々な我慢をしてきた分、この行事が皆で最高の思い出となることを大いに期待しています。

■「ありがとう」の言葉

ある調査で全国の中・高校生に「人に言われてうれしい言葉は何ですか?」と聞いたところ、一番は「ありがとう」という言葉だったそうです。ところが照れてしまうのか、ついタイミングを逃すのか「ありがとう」と言うのが案外苦手な人もいます。

現在、日常生活に加え、行事に向けての活動等でクラスや係活動を通して互いに関わる場面が多くあります。登下校では、気温が下がり日暮れも早くなって保護者の車を利用する場面を多く見かけます。また、各種大会や塾、習い事等での送迎場面も増えてきます。私はそんな様々な場面で友人・家族といえども「ありがとう」の言葉がそこにあることを期待しながらいつも眺めています。

言われてうれしい「ありがとう」の言葉が学校の内外を問わず、もちろん家庭でもたくさん聞こえてくることを願っています。

全道大会・全十勝秋季大会

共栄中生の活躍

全道大会

- 【卓球】 北海道卓球選手権大会カデットの部 (9月5日 苫小牧)
 - 個人戦 3位
 - ダブルス 3位
- 【陸上】 北海道ジュニア陸上競技選手権大会 (9月5日 旭川)
 - 100m 1位
 - 150m 2位

【前号の訂正】

全国陸上競技大会 (誤) 2年女子100m 14位

(正) 女子100m B決勝 6位 (総合14位)

全十勝秋季大会

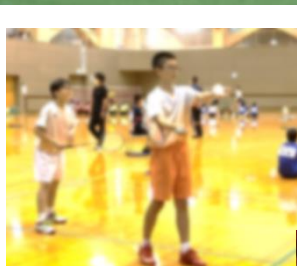
- 【陸上】 (8月28・29日 帯広の森)
 - 2年100m 優勝
 - 共通200m 優勝
 - 1年100m 6位
 - 共通200m 準決勝進出
- 【サッカー】 (9月19日 音更町キックロス)
 - 対 本別中学校 ●
- 【ソフトテニス】 (9月19・20日 帯広の森)
 - ベスト32
 - 団体戦 ベスト8

◇ 10月の主な行事予定 ◇ (9月29日現在)

5日(火)	中学校芸術鑑賞(2年生)
6日(水)	ネットラブル講演会
8日(金)	英語検定・漢字検定 北海道卓球選手権大会ジュニアの部～10日
9日(土)	全十勝秋季中体連(バスケボール) ソフトテニスインドア一次予選 4地区カブス交流大会～10日
12日(火)	町意見発表・英語暗唱大会
14日(木)	3年学カテスト(総合B)
16日(土)	全十勝秋季大会(バレー・バスケット) ソフトテニス1年生大座大会予選
17日(日)	全十勝秋季大会(バレー・バスケット)
20日(水)	ジュニアリトルフットU16 陸上競技大会～24日
21日(木)	生徒総会
22日(金)	合唱コンクール
23日(土)	全十勝秋季大会(卓球・バドミントン)～24日 北海道ジュニアバスケボール大会～24日
24日(日)	吹奏楽部定期演奏会
25日(月)	教育相談～11月2日 MIA-QU(1・2年)
28日(木)	2年生宿泊学習
29日(金)	2年生宿泊学習 3年後期中間テスト 全国卓球選手権大会カデットの部～31日
30日(土)	全十勝バスケボール1年生大会～31日



前号で紹介できなかった秋季大会の様子もお届けします。



共栄中祭に向けて 輝く生徒たち!

共栄中祭の準備風景をお届けします。感染予防に気を付けながら、最高の共栄中祭にするため、学級一丸となって取り組んでいます。パフォーマンスでは、盛り上がるステージにしようと皆でアイデアを出しあっています。競技練習は、本番さながらに気合が入っています。2年生モザイクアート作成では、良い作品を作ろうと、丁寧な作業を心がけています。

シンボルマーク作成の生徒会役員



全国学力・学習状況調査 の結果について

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、国語・数学の結果概要と各教科担当から傾向と今後に向けた取組をお伝えします。

国語・数学のみならず、全教科において、学力向上のため、学習指導要領の確実な実施を図り、授業でしっかりと考え議論する活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成を目指します。

◇ 結果の概要について ◇

◆国語◆

本校の平均正答率は、全道・全国平均を上回る結果となりました。

国語は正しいインプット（問いを読み取ること）により正しいアウトプット（正解を出す）をする教科ともいえます。『吾輩は猫である』での「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方にどう思うかを書く問題について間違った生徒が多くいました。本文を読み取り正解を導き出すこと、自分の考えを持って書くことの二つの条件を満たしていないと正解となりません。

また、敬語の問題の正答率も気になりました。復習するだけでなく、普段から正しく使い慣れることで身に付けてほしいと思います。

◆数学◆

本校の平均正答率は、全道・全国平均を大きく上回る結果となりました。

“数と式”“図形”“関数”のそれぞれの領域にお

いて、定着度が高いことがわかりました。また、無回答の割合が低く、難しい課題に対して諦めずに挑戦しようとする生徒が多いです。

ただ“資料の活用”の領域において課題が見られます。「度数分布表や多角形を見て、データの傾向を読み取り、それを基に説明をする」設問での正答率が低かったです。

また「数学的な結果を文字式で説明をする」「関数のグラフから必要な情報を適切に読み取る」設問で、全国・全道平均は上回っているものの、正答率が低い結果となりました。

『国語・数学の教科担当から』

☆国語科教諭 臼井 愛子

全体的に、全国と比較しても高い正答率となりました。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域については非常に優秀な結果となっています。授業の中で対話をしながら思考すること、自分の考えや読み取った内容を書くことの積み重ねの結果と考えています。特に、「話すこと・聞くこと」の領域においては、どう話すことで相手に伝わるかを工夫することが平日頃よりできていると感じています。

逆に、問題の読み取りの甘さが気になりました。本文は理解しているようでありながら、問いに出された条件を満たしていない解答が見られました。何を問われているかを正しく読み取ることも国語の力です。

机に向かい問題を解くことだけが、国語の力をつける方法ではありません。新聞や本などたくさんの文章に触れることや、ご家族や友人と会話をすることで、語彙を増やし、深い思考力を身に付けてほしいと思います。日常生活の過ごし方ひとつで力をつけられるのも国語だからこそと思います。よい語彙が増えることで思考が豊かになります。自然に国語の力もつくはずですよ。

☆数学科教諭 山田 光

数学の授業では、基礎基本の徹底を図るために、生徒同士での教え合いを大切にしながら、課題に取り組んでいます。自分が理解したことを相手に説明することで理解がさらに深まり、課題に対して仲間と協力して解決することで、学習の成果の定着につながっていくと考えています。

本校の生徒は、今回の全国学力・学習状況調査において、全国・全道平均を大きく上回っています。ただし、データの傾向を的確に捉え、判断理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られました。また、身につけた技能や知識を、どのように応用していくかも今後の課題です。

数学の問題を通して、少しでも論理的に物事を考え、多角的に視野を広げることができるようになれば、学校生活やこれから社会で活躍するために生きる数学となると考えています。今後も生徒たちの主体的・対話的な深い学びの実現のために授業改善を図っていきます。これからもご家庭でのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。